

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかしはら「たいよう」		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 17日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 2月 17日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との信頼関係がしっかりと構築されていることが強みと考えている。	送迎時の活動の様子や普段の様子、成長の様子や本人の課題など、限られた短い時間で伝えることを意識している。伝えきれない場合などは、業務が許す限り公式LINEのチャットや電話等での情報伝達を行っている。	保護者への説明等の充実を図るために、今後も丁寧な利用者支援の提供を行っていく。さらに利用者だけではなく、家族様やきょうだいへ対しての言葉かけや情報の提供を行っていく。
2	基礎となる体の使い方を一人ひとりに合わせた方法で取り組む。	身体的特徴、身体機能の習得度などの体の動きやボディイメージの持ち方、認知機能や感覚の機能などをふまえたアセスメントを行い、身体的にアプローチしている。	基礎基本を大切に、個々の実態に合わせた身体的活動の提供を行う。同じ身体的活動の繰り返しであっても、プログラムの内容を変え、一つの動きが応用できるようにプログラム内容を考えていく。
3	利用者が笑顔で楽しく過ごすことができる事業所が作れている。	日々のプログラムの工夫や、手作りおやつ提供など、利用者が楽しんでもらえることを第一に考えています。	気持ちを落ち着かせる活動や、気持ちのコントロールができる活動などを増やし、楽しく過ごせる事業所ではなく、安全に楽しく、気持ちよく過ごせる事業所を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幅広い障がい特性の利用者が利用されているため、日々のプログラムの内容が難しいのが課題である。	会話での意思疎通が難しい利用者も多い為、ジャスチャーや見本を見せるなどの伝え方が難しいと感じているため、反復の活動を意識している。	プログラムの内容を再度工夫して同じ内容の中でも子供に合わせたやり方や難易度を変えて事業所として同じねらいを持って活動に取り組む。
2	施設内設備の様子や、活動スペース、職員や人員の配置等、環境・体制整備の項目に対する周知が弱い。	周知が弱いのは、周知するための届け方に課題があると考えられる。	施設内の様子や活動スペースを公開することは、現在利用している方の生活の場を公開することと踏まえたうえで、プライバシー保護の観点を忘れず、毎月発行のチラシなどに事業所の紹介や、職員の紹介を載せていく。
3	緊急時の対応、防犯対策、感染症対策などに関する各種マニュアルの周知を図る。	事業所の職員はマニュアルを理解し周知しているが、保護者様への情報提供が不十分である。	職員に加え、保護者の皆様にも各マニュアルの周知を図っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ファミリーサポートかしはら たいよう					公表日	2026年3月31日			
					利用児童数	19		回収数	17	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3	0	2	もう一部屋ぐらいあってもいいかなと思います。 もう少し広くても良いと思う	施設の広さに関しましては規定に基づき、適切な敷 地面積を確保しています。活動時に安全を第一とし た施設配置を行っています。			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2	0	4	活動しているところを見てないのでわからないで す。 建物入り口までしか入らないので、中での様子や 職員さんの数はわからない。	配置人数に関しましては規定に基づき、適切な人員 配置を行っています。さらに必要がある場合など可 能な限り加配を行っています。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	0	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	14	3	0	0					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	13	3	0	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	15	1	0	1	保護者の話をしっかり聞いていただいて支援して いただいていると思います	励みになるご意見ありがとうございます。今後も ニーズに合った計画書を保護者様と一緒に作成して いきます。			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	13	3	0	1					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	2	0	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	14	1	0	2					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	3	2	5	7		状況によって、機会やタイミングがあれば参加する が、現時点ではそのような機会がないのが現状で す。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	14	1	0	1					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	14	2	0	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	8	5	2	2	・講演会の案内はない	本人支援だけではなく、家族様へ対する支援も念頭 に置き、イベントや講習会の開催の有無を把握し、 発信していけるように検討します。			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	0					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	5	1	1	・個別支援計画作成時の電話による面談しか 実施されていない。	面談については保護者様からの希望や事業所からの 必要性がある場合に行います。助言等については、 日ごろの保護者様のご協力もあり送迎時や電話等 にてお伝えさせていただいています。			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2	0	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交 流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょう だい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設け られるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	8	5					
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていま すか。	13	1	0	3	曖昧な事は言わず、はっきりと仰ってくださるの で相談がしやすいです	貴重なご意見ありがとうございます。				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	1	4		ホームページ上での情報開示やラインにて毎月の子ラシを配布させていただいています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	0	4		個人情報は事業所内で厳重に保管し、必ず外部に漏れる事のないよう支援員一同徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	2	1	8		定期的な研修や各マニュアルをファイルとして保管し、必要に応じて閲覧して確認できるように見える位置に保管しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	1	7		各種マニュアルを作成し、周知を図っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1	0	7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	0	2	事故がないのでわからない	事業所内外における事故の発生や怪我をされたときは直ちに状況説明のご連絡させていただいています。引き続き迅速な対応を心掛けていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	3	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	1	1	嫌がることが多い	利用者様の気持ちを優先し、利用の中止を保護者様に促したり、問題点を探し解決へ導いたりと努力しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	2	0	1	迅速に対応していただけて助かります	貴重なご意見ありがとうございます。さらに専門性を高め、ニーズに合った支援を目指していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ファミリーサポートかしはら たいよう		公表日		2026年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		規定に沿った部屋の広さになっています。また活動内容によって部屋を分けています。	個別の狭い空間などを設定する必要がある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		情報過多にならないように極力活動場所には掲示を行っていない	社会生活への参加に向け、こだわりからくる掲示物への危害を無くすため、あえて公共の掲示物と設定し、それへの支援を行っていくことが課題	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		利用者のいない時間帯には必ず清掃を行い、必要のない道具やおもちゃなどは整理整頓して目の届かないところにしまっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			個別に落ち着ける空間で落ち着けるように支援してことが課題である。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々必ずミーティングを行い、支援についての話し合いや振り返りを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			さらに資質や専門性を上げるために、個々での研修への参加意欲を高める必要がある	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			必要とされる習得への過程を、多様な角度から応用へとつながるようなプログラムの立案を行っている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	毎朝ミーティングを行い支援についてなど話し合いを行っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	送迎後に今日あったことを話し合っている。長期休みなどで、出来ないときは次の日の朝に必ず行っている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	支援計画に反映させ変更を行っている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	小さなことから選択できるように、選択できる機会を設けている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	各事業所と情報共有を行い家族様からも聞き取りなどを行っています。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	関連機関には情報の引継ぎを行っています。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	発達段階的に難しいと考える。	その中でも、工夫できるところがあるのか検討が必要
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日頃の様子等を送迎時にお伝えしています。状況に応じて電話やライン上にて情報共有しています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		研修の実施には至っていないが、家庭でも取り組みやすいことをお伝えしている。		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っている。また質問があればいつでも対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	開かれたスペースでの活動や、飾り付け等により事業所の様子や特色を発信している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギー診断を受けた場合や服薬があった場合には診断書を頂き、事業所内で対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、特記や追加事項などを話し合いながら安全管理を行い、支援に取り組んでいます。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		いかなる場合においても身体拘束をおこなっていない。必要性がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に了解を得た上で、支援計画に記載します。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかしはら銀河		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 17日		～ 2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 17日		～ 2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高い利用者満足度と安心感の提供	個別支援計画に基づき、一人ひとりの発達段階や特性に合わせたきめ細やかな声掛けや活動を提供している。	支援の質を維持するために、定期的なケース会議や研修を実施、従業者間での情報の共有と更新をさらに密に行う。
2	子どもが不安定な気持ちを抱えている時や、一人で過ごしたい時に、十分な空間を確保している。	「静かな場所に行く」「何もせずに休む」など、気持ちが疲れた時に自分に合った落ち着き方を理解し、自分自身で気持ちを落ち着けることができるように、集団の中で不安定な様子が見られた際には声をかけ、一人で過ごすことも選択肢として提示し、空間を提供しています。	ずっと個室にいるのではなく、個室の中で落ち着くことができるようになったら、集団の中に戻るために声をかけたり、本人のペースを考慮して行動する。
3	非常時等の対応体制(安全管理)	各種マニュアル整備に加え、避難訓練やAED研修、ヒヤリハット事例の共有を全スタッフで定期的かつ継続的に実施している。	近隣のハザードマップに基づいた水害対策や不審者対応など、より具体的なリスクを想定した訓練のバリエーションを増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流する機会がない。	今年度は面談の機会もとることができなかった。	送迎時にお子様のお話を聞かせていただく中で同じように悩んでおられるご家族様がいらっしゃる、少しでも気持ちが楽になつたりできるように交流会や面談の機会を設けることができるように働きかけていきたい。
2	事業所の取り組みについて、保護者様への周知が不足している。	送迎時にお伝えしてはいるが、具体的に伝えきれていない。	チラシに取り組んだことや様子を入れて周知を図ってきたい。
3	定期的に行っている避難訓練についての周知を行う。	避難訓練は年に2回から3回実施しており、保護者様には送迎時にその旨をお伝えしているが、周知が不十分であると考えられる。	避難訓練を実施した際には、送迎時に情報を伝えるだけでなく、毎月配布しているチラシなどを通じて取り組みや方法についても周知する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ファミリーサポートかしはら 銀河					公表日	2026年3月31日		
		利用児童数			25	回収数			19
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16			3		部屋の広さに関しましては規定に沿った 広さになっております。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2	1	4	少ないと思う。	規定に基づき適切な人数を配置してい ます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		6		タイマーや絵カードを使用して、視覚的 に理解しやすい環境を整えることに努め ています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1		4		清潔で活動に合わせた生活空間を心がけ ております。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	18	1				子どもたち個々の特性に応じた支援を 行ってまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	14	1		4	個別的な配慮・支援が難しそう。	5領域に基づきながらプログラムを考案 しています。また固定化しないように定 期的に会議を行いプログラム構成をして います。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	18	1			毎回同じような内容になってしまう。	毎回の聞き取りと家族様とのコミュニケ ーションをとってまいります。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	13	4		2		年度初めに計画相談に基づいて、個別支 援計画書を作成、半年毎にモニタリング を行っており、そちらからご確認いただ けます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	18			1		5領域に基づきながらプログラムを考案 しています。また固定化しないように定 期的に会議を行いプログラム構成をして います。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	2	1	5	11		状況によって、機会やタイミングがあれ ば参加するが、現時点ではそのような機 会がないのが現状です。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	15	1	2	1		契約時に担当の者から説明させて頂い ています。疑問点などがあればいつでもお 問い合わせ下さい。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	16	2	1	1		面談などの個別対応も行っていますの で、ご連絡いただければ対応させて頂 きます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	6	3	3	7		家族様に対して家族支援プログラムや家 族様も参加できる研修の情報提供を検討 していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていますか。	16	1	2			共通理解ができるよう家族様との意思疎 通をさらに密にしていこう。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3	1			ご希望がございましたら、面談の日程を 設定いたしますので、ご連絡ください。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2		1		落ち着いてお話ができるよう、個別面談 も随時行っておりますので、ご利用くだ さい。	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	3	15		今後、地域交流も含めての交流の機会な ども検討していきます。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	4	2	1		個別面談や電話でのご相談にも対応しております。気になる事があれば、何時でもご相談下さい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	1			小さな変化などを見落とさずに、家族様と情報共有をしていきたいと思っております。また個別面談も活用していただければと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	3	7		毎月、配布しています活動内容の他、ホームページ等においても情報発信しておりますので、ご覧下さい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	2				個人情報の管理に関しては、規定に沿って厳重に行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	2	6		各種マニュアルを策定し、事業所内に掲示しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		5		毎月の防災訓練に加え、昨年度は防災センターへの見学など、計画的に実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		4		安全第一の支援で取り組んでいます。家族様への周知を今後図っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2		5		事故が発生した場合事故対応マニュアルに沿って速やかに対応しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18			1		ありがとうございます。これからも楽しく通ってもらえるように支援の質を向上させていきたいと思っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	2				子ども達や家族様に、満足して頂けるように職員一同、皆様の声に耳を傾けて改善していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ファミリーサポートかしはら 銀河			公表日		2026年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		規定に沿った部屋の広さになっています。また活動内容によって部屋を分けています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		太陽の光も十分に入り、広々としている。毎日の掃除・加湿器・換気・消毒をこまめに行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		気持ち不安定な時等に個室で過ごせることができる空間を設けている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員間の意思疎通・情報共有をしている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々必ずミーティングを行い、支援についての話し合いや振り返りを行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		利用者が楽しみながら「できた」が増えるようなプログラムを考えている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員間で共用し計画書に合わせた支援を行っている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		発達支援の情報・日々の行動観察により確認をしている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節行事を中心に集めた情報を共有し、工夫を図っている。	工夫しているつもりでも固定化している部分があると思うので、意見交換をして見直したい。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝ミーティングを行い支援についてなど話し合いを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎後に今日有ったことを話し合っている。長期休みなどで、出来ないときは次の日の朝に必ず行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		利用者の中でゲームのルールなどを決めてすることもある。製作などもみんな同じものを作るのではなく、一人ひとりの個性が出しやすい工夫をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		各事業所と情報共有を行い家族様からも聞き取りなどを行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		関連機関には情報の引継ぎを行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		外出する機会を増やし、地域との交流を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		参加者から情報を共有できている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		研修の実施には至っていないが、家庭でも取り組みやすいことをお伝えしている。		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っている。また質問があればいつでも対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		現在は行っていないが、今後必要であれば検討していきたいと思っている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			関係者のみ閲覧できる場所に保管して管理しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		現在は行っていないが、今後必要であれば検討していきたいと思っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			職員の周知にとどまらず、今よりも更にご家庭に周知を図るべきだと思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギー診断を受けた場合や服薬があった場合には診断書を頂き、事業所内で対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		AEDの使い方など定期的に様々な研修や訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事案があった時には記録し共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		いかなる場合においても身体拘束をおこなっていない。必要がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に了解を得た上で、支援計画に記載します。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかしはら 大海		
○保護者評価実施期間	令和8年2月17日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年2月17日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の将来の進路選択に向けて、選択肢の幅が広がるようにプログラムを設けている	学校や、家庭、実習先などの情報収集し、個々に合ったプログラムを設定している。	利用者の成功体験の積み重ねられる様、支援方法やプログラムの充実を図る
2	身の回りが自立したできるよう、活動に取り入れている。	利用者にわかりやすいよう視覚的アプローチも取り入れ、プログラムを実施している	普段の日常生活でもつながるよう、学校や家庭とも連携しながら進める。また、家庭から、情報収集をし、活動に取り入れていく。
3	防災面のプログラムを積極的に取り入れている	避難訓練だけでなく、実際の避難所での生活を想定し、防災訓練を行っている。	様々な場面での防災を想定し、できることは何か考え工夫していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の支援内容や活動様子など保護者様に、口頭の説明では不十分なことがあり伝わりきれていないところがある。	事業所内の様子や活動内容など口頭では伝えているものの、細部まで伝わっているか疑問がある。	ラインなどで、定期的な活動写真の配布を行いなど、保護者に普段の様子をわかりやすく伝える方法を検討する。
2	事業所内の環境や職員配置体制が周知不足がある	事業所見学などの設定の不十分さ。保護者様への説明不足。	様々な情報ツールを使い、事業所内の様子や職員紹介を行い発信していく。
3	進路が多方面に及んできている。軽作業体験が、将来の進路と、より繋がりを持てるよう、充実を図る必要がでてきている。	作業面の体験は行っているが、個々のできる事やつまづきに対して、十分な作業方法や環境設定など、細分化できていないところがある。	本人にどのように伝えたら理解しやすく、作業や生活面で困ることがないか、きめ細かく整理する。また、書面などでツールを設けて支援者同士で把握しやすくする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ファミリーサポートかしはら 大海
------	------------------

公表日 2026年3月31日

利用児童数 26名

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12			2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			2	見た事がないのでわかりません	規定に、基づき適切な人員は配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14				1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13				1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13				1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13				1	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	1	6		現状、交流など機会は、あまりないですが、交流の必要性は感じています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	2				支援プログラムにつきましては、HPで掲載させていただいています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1	1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1			4	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	3	6		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1			2	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11			3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2		2		各種マニュアルを作成し、周知を図っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2		2		年に2回避難訓練を実施しています。また、プログラムで防災学習を取り入れています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1				
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14					ありがとうございます。今後も、利用者様・保護者様とも、安心安全にご利用いただけるよう努めさせていただくとともに、楽しみながら過ごしていただければ幸いです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14					
	29	事業所の支援に満足していますか。	14					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名							公表日	2026年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		基準に基づいて職員を配置し、一人ひとりに適切な支援が行えるようにしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	建物の構造上、十分に配慮できていないところもありますが、できる限り、わかりやすく環境を整えています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4					
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	3		経験などを基に行動観察することがあり、幅広い視点や気づいていない視点もあるかと思えます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	ご家族様への聞き取りや事業所での様子を見る際、4つの視点を念頭に置きながら、支援方針を決めるよう心がけています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4					

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	中学・高校生が多いため、就学前の様子は聞く機会が少ない。	同法人内では、情報共有できるが、他事業所との連携は不十分であることがある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		外部研修の情報収集が出来ていない事がありが内部研修でできないか検討を図る。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかしはら大河		
○保護者評価実施期間	2026年2月17日		～ 2026年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年2月17日		～ 2026年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日常的に、ご利用者様の状況について保護者様と連携を図り、課題や現状に関する共通の理解を持っている。	毎朝行っているミーティングで、昨日の出来事やご利用者様の様子、保護者様からの送迎時に聞いたお話、学校の先生からの引継ぎについて話し合い、情報を共有している。	引き続き毎朝のミーティングを行い、情報を共有することはもちろん、支援中に気づいた小さな事柄も職員間で共有し、共通の理解を持つ。
2	子どもが不安定な気持ちを抱えている時や、一人で過ごしたい時に、十分な空間を確保している。	「静かな場所に行く」「何もせずに休む」など、気持ちが疲れた時に自分に合った落ち着き方を理解し、自分自身で気持ちを落ち着けることができるように、集団の中で不安定な様子が見られた際には声をかけ、一人で過ごすことも選択肢として提示し、空間を提供しています。	ずっと個室にいるのではなく、個室の中で落ち着くことができるようになったら、集団の中に戻るために声をかけたり、本人のペースを考慮して行動する。
3	活動プログラムが固定化しないように工夫を凝らしている。	指導員同士で協議を重ね、ご利用者の個性や課題に応じたプログラムを作成している。	ご利用者の成長を促進するために、プログラム実施時の状況を記録し、それを基に活用プログラムを作成する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幅広い障がい特性の利用者が利用されているため、日々のプログラムの内容が難しいのが課題である。	会話での意思疎通が難しい利用者も多く、ジェスチャーや見本を見せるなどの伝え方が難しいと感じているため、反復の活動を意識している。	プログラムの内容を再度工夫して同じ内容の中でも子供に合わせたやり方や難易度を変えて事業所として同じねらいを持って活動に取り組む。
2	緊急時の対応、防犯対策、感染症対策などに関する各種マニュアルの周知を図る。	事業所の職員はマニュアルを理解し周知しているが、保護者様への情報提供が不十分である。	職員に加え、保護者の皆様にも各マニュアルの周知を図っていく。
3	定期的実施している避難訓練についての周知を行う。	避難訓練は年に2回から3回実施しており、保護者様には送迎時にその旨をお伝えしているが、周知が不十分であると考えられる。	避難訓練を実施した際には、送迎時に情報を伝えるだけでなく、毎月配布しているチラシなどを通じて取り組みや方法についても周知する。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ファミリーサポートかしはら大河		公表日		2026年3月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		規定に沿った部屋の広さになっています。また活動内容によって部屋を分けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		気持ちが不安定な時等に個室で過ごせることができる空間を設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			自分自身が改善すべき点を整理していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々必ずミーティングを行い、支援についての話し合いや振り返りを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員間で共用し計画書に合わせた支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		集めた情報を共有し、工夫化を図っている。	工夫しているつもりでも固定化している部分があると思うので、意見交換をして見直したい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝ミーティングを行い支援についてなど話し合いを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎後に今日有ったことを話し合っている。長期休みなどで、出来ないときは次の日の朝に必ず行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		各事業所と情報共有を行い家族様からも聞き取りなどを行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		関連機関には情報の引継ぎを行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		外出する機会を増やし、地域との交流を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		参加者から情報を共有できている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日頃の様子等を送迎時にお伝えしています。状況に応じて電話やSNSにて情報共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		研修の実施には至っていないが、家庭でも取り組みやすいことをお伝えしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っている。また質問があればいつでも対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎の際やお電話にて話をさせていただいたり、希望があれば面談を行い話し合う機会を設けています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		現在は行っていないが、今後必要であれば検討していきたいと思っている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		関係者のみ見れる場所に保管して管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		現在は行っていないが、今後必要であれば検討していきたいと思っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			職員の周知にとどまらず、今よりも更にご家庭に周知を図るべきだと思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギー診断を受けた場合や服薬があった場合には診断書を頂き、事業所内で対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、特記や追加事項などを話し合いながら安全管理を行い、支援に取り組んでいます。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		一つの事案に対して共有を行うと共に、改善策等を考慮しながら再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		いかなる場合においても身体拘束をおこなっていない。必要性がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に了解を得た上で、支援計画に記載します。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ファミリーサポートかしはら大河				公表日	2026年3月31日		
				利用児童数	18	回収数	13	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			2	部屋の広さに関しましては規定に沿った 広さになっております。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			2	規定に基づき適切な人数を配置してい ます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			4	タイマーや絵カードを使用して、視覚的 に理解しやすい環境を整えることに努め ています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			2	清潔で活動に合わせた生活空間を心がけ ております。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	13					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	13					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	13					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	13					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	13				・いろいろな活動をしてくださってい ます。	今後も楽しみながら取り組める活動を考 えてまいります。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	3		3	7		状況によって、機会やタイミングがあれ ば参加するが、現時点ではそのような機 会がないのが現状です。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	11			2		契約時に担当の者から説明させていた だいています。疑問点などがあればいつ でもお問い合わせ下さい。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	12			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	6	1	1	5		家族様に対して家族支援プログラムや家 族様も参加できる研修の情報提供を検討 していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	13					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	1			・ご希望がございましたら、面談の日程 を設定いたしますので、ご連絡くださ い。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3		3	7		保護者様の意見を参考に検討していけ らと思います。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	9	2		2		ご意見をいただいた際には、受付担当者 と責任者が対応し、解決できるよう努め ています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		2		毎月チラシを配布し、プログラムの予定等をお伝えさせていただいています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			1		個人情報の管理に関しては、規定に沿って厳重に行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		5		各種マニュアルを策定し、事業所内に掲示しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			4		年に2～3回、災害別の避難訓練を行い、避難場所までの経路確認を利用者様と一緒にしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2				これからも楽しく通ってもらえるように支援の質を向上させていきたいと思えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1			・定員があり、行きたくても行けない日がある。	当施設では、お子様の安全と適切な支援を確保するため、国が定めた定員を厳守して運営しております。定員を超えてお受けすることは運営基準違反となり、万が一の際の安全責任も負いかねるため、ご不便をおかけし、大変心苦しいのですがお断りせざるを得ない状況です。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかしはら・はやぶさ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 17日		～ 令和 8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 17日		～ 令和 8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎日のミーティングや会議での話し合う機会をしっかりと作り、職員間でのコミュニケーションを図り、同じ方向性を持って、支援ができる。	・毎朝、ミーティングを行い、前日の出来事や送迎での家族様からの話しを職員間で話し合い情報共有と共通理解のもと、子ども達と関わりをもっている。	・外部からの意見も積極的に取り入れ、職員全員が専門的な知識と技術を高め、スキルアップしていけるように様々な研修や活動に積極的に参加していく。
2	・ご家族様に対して、子ども達の様子をしっかりと伝え、必要な情報提供を行っている。 ・必要に応じて個別面談や電話での相談も受け付け、ご家族様の不安や困りごとに寄り添っていけるようにしている。	・送迎時に、その日の様子をお伝えするなど、日頃から職員とご家族様とのコミュニケーションをとり、話しやすく相談しやすい関係性をつくるようにしている。	・今後も職員間での情報共有をしっかりと行い、ご家族様がどの職員に対して相談等をして、理解しコミュニケーションがとれるようにしていく。
3	・学習支援では、毎日の学校の宿題やその中での、個々の小さな躓きを見逃すことなく、個別課題などを用いて支援を行っている。また一年生に関しては、「ひらがな」「カタカナ」を早くから始め、学校での学習の戸惑いをなくすように取り組んでいる。	・学校の宿題を見て、その時に応じた学習課題プリントを準備し取り組んでもらっている。一年生の夏休みには、二学期から始まる「カタカナ」の習得がスムーズになるように学習支援を行っている。	・個別の小さな躓きを見落とすことなく、また達成感を感じてもらって、得意な事や好きなことを増えるように支援を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者間や家族交流の機会がない。	・面談の機会も少なく、相談に対しても解決までいくことが難しいこともあった。	・交流の機会があれば、同じ悩みを持っていることも多く、自分だけではないと精神的にも安定できると思う。
2	・活動スペースが適切かわからないとの意見がある。	・学習室・食堂・活動室と独立しているのは、学習に集中出来たり、机上の遊びをするのには良い点もあるが、体を使うプログラムでは工夫が必要な時もある。	・チームや、片側で待機などを工夫をして、活動スペースを確保していく。
3	定期的実施している避難訓練についての周知を行う。	避難訓練は年に2回から3回実施しており、保護者様には送迎時にその旨をお伝えしているが、周知が不十分であると考えられる。	避難訓練を実施した際には、送迎時に情報を伝えるだけでなく、毎月配布しているチラシなどを通じて取り組みや方法についても周知する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ファミリーサポートかしはら・はやぶさ				公表日	2026年3月31日	
		利用児童数	28		回収数	18	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが確保されていると思いますか。	16	1	0	1	・遊びにも勉強にも十分な広さがあると思う。 ・部屋の広さに関しましては規定に沿った広さになっております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1	0	5	・実際に見ていないので。 ・規定に基づき適切な人数を配置しています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	2	・タイマーや絵カードを使用して、視覚的に理解しやすい環境を整えることに努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	2	0	3	・いつ見ても清潔な状態が保たれていると思う。 ・今後も子ども達が気持ちよく過ごせるように、環境整備を行っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	2	・十分に理解し温かく、時には厳しく、ご支援していただいていると感じています。 ・今後も子どもたち個々の特性に応じた支援を行ってまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	1	・5領域に基づいたプログラムを考案、実施しており、また送迎時にその日の内容をお伝えしております。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	17	1	0	0	・毎回聞き取りを行い、家族様とのコミュニケーションをとっていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	1	・年度初めに計画相談に基づいて、個別支援計画書を作成、半年毎にモニタリングを行っており、そちらからご確認いただけます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1	0	1	・5領域に基づいたプログラム、支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	0	0	・いろいろな工夫し、様々な活動を提供して下さり、感激しています。 ・色々なプログラムが考えられており、子供が飽きないような工夫がされていると思う。 ・今後も子ども達が楽しく取り組み成長できるプログラムを提供していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	3	2	8	・状況によって、機会やタイミングがあれば参加するが、現時点ではそのような機会がないのが現状です。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1	0	0	契約時に担当の者から説明させて頂いています。疑問点などがあればいつでもお問い合わせ下さい。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	2	0	0	
	14	事業所では、家族に対して講演会の案内や状況提供等が行われていますか。	11	2	1	4	・子どもの様子については、丁寧に教えて頂いています。 ・家族様に対して家族支援プログラムや家族様も参加できる研修の情報提供を検討していきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	4	0	・個別面談の機会を常に設けておりますので、お声掛け下さい。またその日の気になることなども、お電話での対応もさせて頂いております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	2	・落ち着いたお話ができるよう個別面談も随時行っておりますので、ご利用ください。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	4	11	・今までそのような交流の機会はありません。 ・今後、地域交流も含めての交流の機会なども検討していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	4	・すぐに相談にも対応して頂けていると思う。	・個別面談や電話でのご相談にも対応しております。気になる事があれば、何時でもご相談ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	1	・送迎時に、その日の様子を詳しく教えていただき安心しています。	・今後も小さな変化などを見落とさずに、家族様と情報共有をしていきたいと思えます。また個別面談も活用して頂ければと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	1	4	・毎月、丁寧なプログラムや予定表をいただいています。楽しみにしています。	・毎月、配布しています活動内容の他、ホームページ等においても情報発信しておりますので、ご覧下さい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	5	・ものすごく気をつかわれていると感じる。	・今後も慎重に取り扱ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	8		・各種マニュアルを策定し、事業所内に掲示しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	0	11		年に2～3回、災害別の避難訓練を行い、避難場所までの経路確認を利用者様と一緒にを行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	7		・各種マニュアルに基づいて、安全に支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	1	4	・今まで、そのようなことがないです。	・その様な事があった時には、速やかに家族様に連絡をし、同時に適切な対応をしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	2	0	1	・嫌がることなく楽しみに通えていることが、不安がない証だと思っています。 ・不安に感じた事はないように思う。	・子ども達にも家族様にも安心して通っていただけるように致します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	3	0	1	・大変、楽しみに通わせていただいています。	・様々なことを楽しく取り組めるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	・宿題、学習、活動、全てにおいて、ご支援いただき、感謝しています。	・子ども達や家族様に、満足して頂けるように職員一同、皆様の声に耳を傾けて改善していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ファミリーサポートかしはら・はやぶさ				公表日	2026年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・規定に沿った部屋の広さになっています。また活動内容によって部屋を分けています。	・プログラムや活動内容に応じて、空間を利用していく必要がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・他の方に邪魔にならないように、テープ等で印を付け、並んで待つようにしている。	・共有スペースに出る扉が外開きのため通行の妨げになるのが気になる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・気持ちが不安定な時等に個室で過ごせることができる空間を設けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			・自分自身が改善すべき点を整理していきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・日々必ずミーティングを行い、支援についての話し合いや振り返りを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・職員間で共用し計画書に合わせた支援を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・集めた情報を共有し、工夫を図っている。	・工夫しているつもりでも固定化している部分があると思うので、意見交換をして見直したい。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・毎朝ミーティングを行い支援についてなど話し合いを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・送迎後に今日有ったことを話し合っている。長期休みなどで、出来ないときは次の日の朝に必ず行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		・各事業所と情報共有を行い家族様からも聞き取りなどを行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		・関連機関には情報の引継ぎを行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		・外出する機会を増やし、地域との交流を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・参加者から情報を共有できている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・研修の実施には至っていないが、保護者の方には家庭でも取り組みやすいことをお伝えしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に説明を行っている。また質問があればいつでも対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		・現在は行っていないが今後必要であれば検討していきたいと思っている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			・関係者のみ閲覧できる場所に保管して管理しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		・現在は行っていないが今後必要であれば検討していきたいと思っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			・職員の周知にとどまらず、今よりも更にご家庭に周知を図るべきだと思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・アレルギー診断を受けた場合や服薬があった場合には診断書を頂き、事業所内で対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			・子ども達の安全について、家族様と協力体制を図り、周知に取り組んでいきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・事案があった時には記録し共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		いかなる場合においても身体拘束をおこなっていない。必要性がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に了解を得た上で、支援計画に記載します。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかきはら りゅうぐう		
○保護者評価実施期間	令和8年2月17日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	令和8年2月17日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童は通所を喜んでくれている	子供たちが何に興味をもっているかなど把握につとめている。 話を聞いて欲しい子供たちなのできちんと話を聞き、会話を楽しんでいる。 また、興味をもってもらえるプログラムの充実を図るため、教材や支援の研究を行っている。支援者同士で意見交換をし、支援につなげている。	引き続き、楽しんでもらえるようなプログラムの充実を図り、子供たちの意見も取り入れながら子供たちの力になるような取り組みを行っていく。
2	学習支援プログラムでは、「読み」「書き」「算数」「個別課題」を主軸として取り組んでいる。特に「読み」については音読が重要だと考え、長期休みに行っている朝読書に力を入れており、読むスピードが上がるなどの成果をあげている。 また、日々の宿題のサポートも取り組んでおり、利用者の学習意欲につながっている。	文章の音読、読書を行うことで、「語彙力・読解力」「集中力を高める」「コミュニケーション能力」が身につくため繰り返し行っている。 また、ペアワーク、グループワークを取り入れており、教えあったり、認め合ったりすることができている。	現在はグループで意見を出し合い、思考力・判断力・表現力をつけているが、繰り返し行いながらグループの人数を減らしていき、一人一人が力を発揮できるように繋げていく。
3	学習支援やSST、その他プログラムで子供たちが取り組んだことは掲示することにより頑張りを認めている。また、子供たち同士認め合える雰囲気作りをしている。	学習支援で取り組んだプリントやSSTで話し合ったことなど学習部屋に掲示すること	引き続き、子供たちの頑張りを子供たちに返していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同が交流する機会がない。	今年度は面談の機会もとることができなかった。	送迎時にお子様のお話を聞かせていただく中で同じように悩んでおられるご家族様がおられるので、少しでも気持ちが楽になつたりできるように交流会や面談の機会を設けることができるように働きかけていきたい。
2	事業所の取り組みについて、保護者様への周知が不足している。	送迎時にお伝えしているが、具体的に伝えきれていない。	チラシに取り組んだことや様子を入れて周知を図ってきたい。
3	定期的実施している避難訓練についての周知を行う。	避難訓練は年に2回から3回実施しており、保護者様には送迎時にその旨をお伝えしているが、周知が不十分であると考えられる。	避難訓練を実施した際には、送迎時に情報を伝えるだけでなく、毎月配布しているチラシなどを通じて取り組みや方法についても周知する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ファミリーサポートかしはら りゅうぐう				公表日	2026年3月31日		
						利用児童数	20	回収数	15枚
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	2		希望に応じまして見学、面談を行っております。ご連絡頂ければ対応させていただきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1	0	2		職員の配置につきましては、ガイドラインに沿って適切な配置をしています。また、ご利用者様の状況に応じて配置させていただいております	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3	0	2	伺ったことがないため、なんとも言えません。	タイマーや絵カードを使用して、視覚的に理解しやすい環境を整えることに努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	9	0	0	3	しょうがない部分ですが、断熱性がない部屋なので夏は暑く、冬は寒いとよく言っています。	冷暖房機器の温度調整を行いながら取り組みます。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	1		5領域に基づきながらプログラムを考案しています。また固定化しないように定期的に会議を行いプログラム構成をしています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	1	0		5領域に基づきながらプログラムを考案しています。また固定化しないように定期的に会議を行いプログラム構成をしています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	3	3		状況によって、機会やタイミングがあれば参加するが、現時点ではそのような機会がないのが現状です。	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1	0	0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	1	3		家族様に対して家族支援プログラムや家族様も参加できる研修の情報提供を検討しています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	2	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3	1	0		希望に応じまして面談を行っております。ご連絡いただければ対応させていただきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	1	4		保護者様の意見を参考に検討していけたらと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	1		ご意見をいただいた際には、受付担当者や責任者が対応し、解決できるよう努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	0	6		毎月チラシを配布し、プログラムの予定等をお伝えさせていただいています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	3	0	5		各マニュアルを作成しております。また、訓練も行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	0	6		年に2～3回、災害別の避難訓練を行い、避難場所までの経路確認を利用者様と一緒に行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	0	4		安全第一の支援で取り組んでいます。家族様への周知を今後図っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	2	0	3		事故が発生した場合事故対応マニュアルに沿って速やかに対応しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	0	疲れはあると思うが、本人の表情が良いのでまず安心しています。	ありがとうございます。引き続き安心して利用していただけるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	長期休みの期間は、毎日違ったプログラムを体験してもらいありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ファミリーサポートかしはら りゅうくう				公表日	令和8年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	規定に沿った部屋の広さになっています。また活動内容によって部屋を分けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	視覚を用いて部屋の使いかたを示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	気持ちが不安定な時等に個室で過ごせることができる空間を設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0		自分自身が改善すべき点を整理していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	日々必ずミーティングを行い、支援についての話し合いや振り返りを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	職員間で共用し計画書に合わせた支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	集めた情報を共有し、工夫化を図っている。	工夫しているつもりでも固定化している部分があると思うので、意見交換をして見直したい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	毎朝ミーティングを行い支援についてなど話し合いを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	送迎後に今日有ったことを話し合っている。長期休みなどで、出来ないときは次の日の朝に必ず行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	子供たちの意見を取り入れています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	学校と密に連携をとっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	各事業所と情報共有を行い家族様からも聞き取りなどを行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	関連機関には情報の引継ぎを行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		外出する機会を増やし、地域との交流を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	参加者から情報を共有できている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	研修の実施には至っていないが、保護者の方には家庭でも取り組みやすいことをお伝えしている。		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に説明を行っている。また質問があればいつでも対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		現在は行っていないが、今後必要であれば検討していきたいと思っている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		関係者のみ閲覧できる場所に保管して管理しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		現在は行っていないが、今後必要であれば検討していきたいと思っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		職員の周知にとどまらず、今よりも更にご家庭に周知を図るべきだと思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	アレルギー診断を受けた場合や服薬があった場合には診断書を頂き、事業所内で対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	事案があった時には記録し共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	いかなる場合においても身体拘束をおこなっていない。必要がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に了解を得た上で、支援計画に記載します。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 やまと福祉事業団 ファミリーサポートせいわ大地		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職配置によるプログラムの充実	専門職によるプログラムの実施後、個人の分析結果を記録として残している。次回のプログラム実施時には、その記録を基に、環境調整を行い取り組んでいる。	プログラムで使用する物品の作成等、一人一人の発達段階に応じた環境を整えていく。
2	法人内の相談支援員との連携が取れる体制になっているため、情報共有が速やかにすることができ、一貫性を持って支援にあたることができている	相談支援員との面談(モニタリング)後には、事業所の支援員と積極的に情報共有を行っている。	相談支援員だけでなく、普段から保護者や学校の先生に対し、こちらから利用者の様子の聞き取りや、情報提供を行っていく。
3	将来の生活に向けての活動を取り入れている	毎月、プログラムの中に、将来の生活に役立つようなもの(お手伝い・買い物など)を取り入れている。また、1回きりにならないよう、物品等を変更しながら繰り返し取り組んでいる。	一人一人が、何ができて何ができないのが評価表等を使用して、成長段階を把握していく。また、段階に応じたプログラム内容を提供する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者に対して、活動スペースの区別化ができていない。	利用者に明確に、部屋の用途を伝えきれていない。	パーティション等の物品の使用をする等し、仕切ることでの部屋は、落ち着いて取り組む部屋、おもちゃで遊ぶ部屋など、利用者への意識付けを促していく。
2	利用者の年齢層が幅広いが、異年齢の交流や、やり取りがあまり生まれにくい	特に自由時間の際は、それぞれが好きな事をして過ごしているので、やり取りが生まれにくい。	プログラムの中に様々な年齢の利用者同士がやりとりをする必要性を加えて実施する。
3	保護者様に事業所内での活動が十分に伝わっていない	毎月配布している月間プログラムに取り組んだ活動内容をあまり載せていない。	送迎時に、その日に行った活動をより丁寧に伝える。また、LINE(SNS)を使い、迅速に写真などで活動内容を伝えていく。面談の際、実際にプログラムで使用した物品等を呈示しながら話を進める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ファミリーサポートせいわ 大地

公表日 2026年3月31日

利用児童数 31

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13			2		食堂・プレイルーム・リラックスルームなど内容に応じて部屋を設けています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1		8	目で確認したことがないのでわからない。	職員の配置につきましては、ガイドラインにそって適切な配置をしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			6		階段や、段差のあるところでは特に注意を払い、支援をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1		4		毎日掃除を行い、換気や玩具の消毒を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1		3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1		1		5領域に沿った内容で作成し、家族様からの聞き取り内容も踏まえて作成しています。その後、家族様に確認していただいた上でサインをしていただいています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	3		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1		2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	4	7		地域交流の場の機会を増やしていけるよう検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14			1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	2	1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	6			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	2				変化や気付きがあった時には、送迎時などに家族様に伝えて情報共有を行うようにしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2	1			面談のご希望があれば、随時受付しておりますのでご連絡下さい。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	9		5		現在、父母の会や保護者様同士で交流ができる場の提供はしていません。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	9	6	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	9	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	9		3		ホームページ上での情報開示やラインにて毎月のチラシを配布させていただいています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1		3		個人情報は事業所内で厳重に保管し、必ず外部に漏れる事のないよう支援員一同徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	2		7		定期的な研修や各マニュアルをファイルとして保管し、必要に応じて閲覧して確認できるように見える位置に保管しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2	2			年に2回、避難訓練を実施しています。また、定期的に災害についての動画やお話をする機会を設けています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1		6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2		4	事故等が辛いことにないので、わからない	事業所内外における事故の発生や怪我等されたときは直ちに状況説明のご連絡させていただいています。引き続き迅速な対応を心掛けていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	14		1		利用予定が固定され、以前は春休み夏休み冬休み長期休暇の時大地しか利用していないのに、利用できなくなってしまいました。人員配置を増やしたり、事業の拡大困っています。改善されるのでしょうか？	現在、1日の定員数が適切に保てる様に、曜日固定でのご利用を推奨しています。人員配置を増やしたり、事業の拡大を念頭に改善できるよう検討しています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ファミリーサポートせいわ 大地				公表日	2026年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2		利用者が明確に、部屋の利用用途を把握できていないため、目視で分かりやすいように区切り、伝えていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4		階段や段差が多くあるので、特に危険箇所は共通認識し、安全対策をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃や消毒をしながら、活動場所の破損場所や、危険場所などを確認しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		サイクルを意識して業務に取り組んでいます。	個々の中で行っているだけなので、PDCAの活用内容を周知して業務に活かせるようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		個々に合った研修を法人が選択し、受講することが出来ています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		毎月、5領域に沿ったプログラム内容をチラシとして配布しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		作成者と支援員が情報共有し、計画に活かされている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		必ず情報共有を行い、計画に沿った支援を心がけています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		放課後デイサービスガイドラインに基づきながら支援内容に設定しています。必要に応じて保護者等に聞き取りを行い、定期的に見直しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		4		専門職を活かしたプログラムになっており、これからはチームで取り組むことを意識していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		プログラム内容によっては、反復や少しずつ難易度を上げていくなど工夫をしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎朝のミーティングで注意事項や予定などを確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		業務終了時には、出来事や感じた事などの話をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		時には、記録をさかのぼり支援に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・ご様子や意向などを定期的に聞き取りを行いながら継続・見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		あらゆる方法で活動を促し、絵カードや写真も活用し可能な限り自らで決断できる状況を作っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		参加をする機会があれば、状況を1番理解している担当者が参加するようにしています。	担当者会議に参加する機会が少ない現状と頻繁には開催されていない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		4	必要な関係機関とは連携を取り、情報共有などを行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		必要な情報共有を行い、担当教諭とも送迎時に関われるようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	必要に応じて各関係機関に連絡を取り、情報収集を行いながら共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		必要であれば移行先に対して、支援内容や様子について情報提供をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		現在、地域の公共機関と連携をする活動は行っていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		日々の業務等の都合により参加できていません。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		その日の出来事や行った内容、様子などを送迎時に必ず伝えるようにしています。また、支援員によっては気付いた点などの情報を伝えるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		家族様に対する研修会等は行っていませんが、相談等の連絡があれば随時対応しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		見学及び契約時に必ずお伝えするようにしています。	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		作成した計画書を必ず家族様に確認していただいた上でサインをして同意していただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎の際やお電話にて話をさせていただいたり、希望があれば面談を行い話し合う機会を設けています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		現在、保護者会を開催する予定はございません。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情や意見等があった場合は迅速に対応できるよう職員同士で共有し、対応を行えるように体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			ライン上にて毎月のチラシを配布しているが、活動内容等を気軽に確認できる媒体があれば良いと思う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報が記載された書類は十分に留意し漏洩がないよう厳重に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		地域住民との交流の機会がありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	それぞれに関するマニュアルをファイリングし、必要に応じて確認できるように、事業所に保管しています。	家族様に対し、マニュアルや訓練内容の周知活動にも取り組んでいきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPに関する研修を行い、事業所内での訓練や個々の役割、対策方法などを確認しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		利用時に保護者より聞き取りを行い、個人票にも記載してもらっています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	契約時等にアレルギー等も確認して、おやつや昼食に提供しないように細心の注意を払って支援に取り組んでいます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		定期的に、避難訓練、BCP訓練、危険場所の確認を行い、安全対策を随時行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		一つの事案に対して共有を行うと共に、改善策等を考慮しながら再発防止に努め、ヒヤリハット事例のファイルを作成しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		定期的に研修を行い、共通認識を高めていながら適切な対応ができる体制を整えています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		いかなる場合においても身体拘束をおこなっていない。必要がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に了解を得た上で、支援計画に記載します。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートせいわ 大地の森		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他事業所との区別化。	利用者様が一人ひとり伸び伸びと体を動かせるような活動や、苦手分野・得意分野を見極めて、個々に合わせた活動内容の提供を行っています。また、将来を見据えて、何事にも自分の力で取り組めるように必要最低限のサポートをして、「できた」という気持ちを大切にもらえるように支援しています。	支援者の引き出し(活動案)を増やしていくことで、利用者様にとって、新しい刺激となる活動を提供していく。
2	個別学習支援としての取り組み内容。	個別学習内容(勉強)だけでなく、多様なスキルを学べるように、能力向上に対する意識付けや興味関心が広がるような課題や活動を提供しています。宿題や課題以外にも、職種や娯楽に対する必要なスキルと一緒に学んでいます。	専門職員の配置。一人ひとりの得意不得意な分野や必要となる支援内容を明確化し、最適な支援方法で関わる事ができるようになる。
3	自立に向けた取り組みや環境整備を行っている。	できるだけ利用者様の力で問題を解決していくように意識しながら活動に取り組んでいます。壁に直面した時は、すぐに答えを出すのではなく、共に考え、解決する鍵となる方法を少しずつ引き出し、今後に向けた対応策までをサポートしていきます。	個々の能力を細かく見極めて、最適な難易度の課題を提供していく。また、その日の状態なども考慮した上で、適度なアプローチをして、関わりを深めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容のマンネリ化。	利用者様が楽しんで取り組んでいる様子が見られた内容に関しては、ひと月に複数回取り入れてしまっている時もある。	支援の方向性を事業所内で統一するために、同じねらいを持った上で、異なった内容の活動を提供する事で、飽きない、楽しい、挑戦という気持ちも感じられるように支援に努める。
2	支援員ひとり一人のスキルの向上を目指す。	それぞれの利用者に対して、個々の支援員が現段階で思う最善策の対応をしているが、問題解決までに至らない状況や新しい取り組みなどの、明確となる提示ができていない時がある。	利用者に対してしっかりとしたねらいを持って関われるように、個々の支援員が経験や多くの幅広い情報を得て、支援スキルの向上を図っていく。
3	各関係機関との情報交換の場が少ない。	相談支援員の方と定期的にお話する機会はあるが、他関係機関との密に情報交換を行う場が少ない。何かあれば保護者を通じて連絡を取り合うことは行っている。	一貫したサポート体制が構築できるようになり積極的に職種間との情報共有の場を設けたり、保護者や学校等との相互理解を深めていく為にも引き続き信頼関係を築いていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ファミリーサポートせいわ 大地の森				公表日	2026年3月31日	
						利用児童数	35	
						回収数	15	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが確保されていると思いますか。	14	1			広々として過ごしやすい	各内容（運動・学習・食事）によって活動部屋を明確化し、環境整備を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	3		3	退職者の後任となる支援員が未定	適任となる人材を随時検討し、より良い支援が提供できるように検討しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			3		活動部屋を明確化し、過ごしやすい環境整備をすると共に、安全面にも配慮した設備を意識しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1		2		必要に応じて換気や玩具や設備の消毒や清掃を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた支援が受けられていると思いますか。	14	1				個別ファイルにそれぞれの情報や特性をファイルし、支援者同士での情報共有をする時間を設けて支援に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14		1			普段の活動の様子を踏まえ、家族様からのご意見も聞きながら作成させていただいています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			3		5領域に沿った内容で作成し、家族様からの聞き取り内容も踏まえて作成しています。その後、家族様に確認していただいた上でサインをしていただいています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			2		計画内容を随時見直し、現在の本児に合った内容であるかを確認しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2			色々なプログラムがあって楽しそう	子ども達が楽しめるような内容を多く取り入れ、個々にあった内容へと変更しながら提供しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	3	8		状況によって、機会やタイミングがあれば参加するが、現時点ではそのような機会がないのが現状です。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	2	1			作成した内容や聞き取った内容を反映させ、ご家族様と対面させていただいた時にお伝えさせていただいています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	2	1		家族様に対して家族支援プログラムや家族様も参加できる研修の情報提供を検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13		2			送迎時等に変化や気付きがあった時には、家族様に伝えて情報共有を行うようにしています。
	16	定期的な、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	1	1	半年に一度くらい行われている。	半年に1度、個別支援計画書の見直しの際に聞き取りをさせていただいています。その他にも、随時ご連絡をお待ちしていますので、ご希望がありましたら迅速に対応させていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1				
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	6	7		現在、父母の会や保護者様同士で交流ができる場の提供はしていません。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		4		ご意見をいただいた際には、受付担当者 と責任者が対応し、解決できるよう努 めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	13	2				子ども達から聞いた内容を家族様に情報 をお伝えし、現状の把握を共通ででき るように配慮しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信さ れていますか。	9	3	3		SNS等で写真等を見ることができたら嬉 しい	ご利用者の個人情報の管理を徹底する という観点から、幅広く公開する事は していませんが、毎月のチラシで活動内 容の配信やご希望がございましたら、写 真等でご確認していただく事は可能 です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			3		個人情報は事業所内で厳重に保管し、必 ず外部に漏れる事のないよう支援員一 同徹底しています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユアル、 感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。 また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10		1	4		定期的な研修や各マニュアルをファイ ルとして保管し、必要に応じて閲覧し 確認できるように見える位置に保管し ています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	10	1		4		2カ月に1度必ず避難訓練を行い、行 った内容を提供記録に記載すると共に 、家族様に伝え、緊急時の避難場所 やルートなどの情報も管理しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11		1	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		1	前例がないため、わからない	予め緊急連絡先などを確認させていた だき、保険の案内や必要に応じて、か かりつけの病院などの情報も確認さ せていただいています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					今後、不安な点やご不明な点がござ いましたら、ご連絡をいただければ 対応させていただきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15					安全に配慮した上で、今後とも子ど も達が楽しめる活動内容を提供し、 支援に努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1				更なるご希望などがございましたら、 できる限り対応させていただければ と思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ファミリーサポートせいわ 大地の森				公表日	2026年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		規定に合わせて行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		食堂・プレイルーム・学習部屋など、それぞれの部屋で行う活動内容を明確化しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃や消毒をしながら、活動環境の確認をして、破損場所や「危険場所」などを確認しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		サイクルを意識して業務に取り組んでいます。	個々の中で行っているだけなので、PDCAの活用内容を周知して業務に活かせるようにしていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		支援者の中で、いただいたご意見を共有し、改善点を修正しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎朝のミーティングやコミュニケーションの中で、感じた事や考えている事など、それぞれが話しやすい環境を作っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修日時と予定や内容を確認して、必要と感じる研修には受講できるようにしています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		毎月、5領域に沿ったプログラム内容をチラシとして配布しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		送迎時に家族様と話をさせていただいた時の情報交換や随時ラインでの連絡や個別支援計画での聞き取りの際、ご意見をいただいています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援計画の内容には支援員が必ず目を通して支援の方向性などを統一しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の子どもの状況や出来事などをまとめて、変化があった時には記録をするようにしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		5領域に基づいて、個々に合わせた計画を立てています。また、定期的に見返して更新をするようにしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		プログラムの内容を一人で決めず、それぞれの支援員が案を出し合って考案しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			子ども達が楽しめる活動を中心に考案しているため、前回と同様の内容になってしまっている活動もあるので、状況に合わせて変更していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎朝のミーティングで注意事項や予定などを確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		業務終了時には、出来事や感じた事などの話をしていきます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に1度、家族様に聞き取りをさせていただき、更新をしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		あらゆる方法で活動を促し、可能な限り自らで決断できる状況を作っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		参加をする機会があれば、状況を1番理解している担当者が参加するようにしています。	担当者会議に参加をする機会が少ない現状と頻繁には開催されていない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要な関係機関とは連携を取り、情報共有などを行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		必要な情報共有を行い、担当教諭とも送迎時に関わられるようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			現在、連絡を取り合っている機関はありませんが、必要な時は情報共有を行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		家族様の同意を得た上で、必要な情報を提供するようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4			現在、地域の公共機関と連携をする活動は行っていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		現職の支援員は参加していないが、法人内の担当者は参加しています。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		その日の出来事や行った内容、様子などを送迎時に必ず伝えるようにしています。また、支援員によっては気付いた点などの情報を伝えるようにしています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			家族様に対しての研修会等は行っていませんが、相談等の連絡があれば随時対応しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		見学及び契約時に必ずお伝えするようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		子どもたちを優先的に考えて提供するようにしています。その後、家族様のご意見や支援者からの意見をお伝えし、より良いサービスが提供できるように意識しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		作成した計画書を必ず家族様に確認していただいた上でサインをして同意していただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		ご相談があればできる限りの知識等を提供し、ご対応させていただいています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		現在、保護者会を開催する予定はございません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情や意見等があった場合は迅速に対応できるよう職員同士で共有し、対応を行えるように体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			ライン上にて毎月のチラシを配布しているが、活動内容等を気軽に確認できる媒体があれば良いと思う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報に記載された書類は十分に留意し漏洩がないよう厳重に保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		出来る限りの家族様の意向を尊重し、方向性を統一できるように意識しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		現状では、地域交流をする行事等を設定していない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		それぞれに関するマニュアルをファイリングし、必要に応じて確認できるように、事業所に保管しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPに関する研修を行い、事業所内での訓練や個々の役割、対策方法などを確認しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		服薬状況や病歴、てんかんの情報などを予め確認をして、個人ファイルに保管して支援員内でも情報共有をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		契約時等にアレルギー等も確認して、おやつや昼食に提供しないように細心の注意を払って支援に取り組んでいます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		定期的に、避難訓練、BCP訓練、危険場所の確認を行い、安全対策を随時行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		一つの事案に対して共有を行うと共に、改善策等を考慮しながら再発防止に努め、ヒヤリハット事例のファイルを作成しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		定期的に研修を行い、共通認識を高めていながら適切な対応ができる体制を整えています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		いかなる場合においても身体拘束をおこなっていない。必要性がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に了解を得た上で、支援計画に記載します。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートこおりやま 宇宙		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・主体性を育む環境作りを行っている。	・主体性を身に付けていくことを事業所の一つの定義として掲げている。自己選択・自己決定に繋がるような様々な選択肢を提示していき、何事にも自ら選んでいけるように環境設定をしている。集団生活の中で周囲の方を褒める時間を設けることにより自己肯定感を高めていく。	・今後の方向性として様々なことへチャレンジをしていながら、成功体験を積み重ねることにより気持ちを高めていけるようにしていく。日々の療育プログラムとは別に週替わりで自己選択・自己決定・自己肯定感が育んでいけるような取り組みも行っていく。
2	・集団生活における協調性の向上。	・集団療育の中でルールを決めたプログラム作りやチームスポーツなど楽しみながら参加してもらい、その中で役割分担をしたり順番待ちができるよう配慮している。周囲の方と一緒に共感していき少しずつ協調性が身に付いていけるような環境作りを行っている。	・引き続き安心して活動できる集団プログラム内容を考案していく。その際に多くの利用者が参加できたり、少しでも自信を持ち前向きに取り組めるような雰囲気作りも並行して進める。
3	・一方的な提供ではなく、利用者の意見や思いを尊重しながら支援提供に努めている。	・定期的に取り組みたい活動やしてみたいことなど、個々の意見を取り入れながら5領域に基づき支援内容に反映させている。意見を取り入れることにより、活動に対して意欲的に取り組めることを意識付けるきっかけとなっている。	・支援者側がそれぞれ個々の特性を見極め理解しながら支援提供していく。できること、できないことなど考慮していき少しずつ活動の幅を広げていけるようにしていく。また、それぞれの意見交換ができる時間を設けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・異年齢児による療育内容の基準設定が定まっていない。	・低学年の利用者が増えたり、地域の方と養護学校に通われている方が混在している状況なので、どこに重点を置くかが課題となっている。個別・集団の療育において個々の特性や課題などを踏まえ、より細かく療育内容を設定していく必要がある。	・改めて個々の特性や課題を集約していきながら、それぞれに沿った療育設定をしていく必要がある。その為には支援員が共通認識を持ちながら同じ目線で取り組むことが望ましい。
2	・個々の特性に合わせたきめ細やかな支援の取りずらさ。	・療育の際に個々の特性に合わせていきながら支援を行っていくことが課題点といえる。俯瞰的に支援を行うことはできているが、放課後の時間などにおいてきめ細やかな支援が取りずらいのが現状である。	・俯瞰的に支援を行うことはできている中、局所的及び直接的な支援もしていきながら個々の課題に寄り添っていく。限られた時間の中でどのようなアプローチをしていくことが最善策なのかを支援員同士で熟考していく。
3	・各関係機関との情報交換の場が少ない。	・相談支援員の方と定期的にお話する機会はあるが、他関係機関との密に情報交換を行う場が少ない。何かあれば保護者を通じて連絡を取り合うことは行っている。	・一貫したサポート体制が構築できるようになり積極的に多職種間との情報共有の場を設けたり、保護者や学校等との相互理解を深めていく為にも引き続き信頼関係を築いていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ファミリーサポートこおりやま 宇宙						公表日		2026年3月31日	
		利用児童数				24		回収数		14	
		チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		13			1		・各活動に応じて居室分けをしています。必要に応じて活動場所を変えさせていただきます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		11			3		・安心して過ごしていただけるよう、十分な職員配置をしております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		13			1		・ご希望があれば随時事業所見学もさせていただきますのでお気軽にお問い合わせください。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		13			1		・居室内外を清潔に保ち心地よく過ごしていただく為に、毎日かかさず清掃を行っています。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		14							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		14							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		14					・逐一支援者同士で情報共有を行いながら、個々の特性の理解に努めています。それぞれの意見を出し合い、ニーズに寄り添いながら支援計画に反映させています。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		14							
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		14							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		14					・誰もが主体性を持って参加できるようなプログラム作りを話し合いながら考案しています。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		4		1	9		・地域交流の場の機会を増やしていけるよう検討していきます。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		14							
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		13	1						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		11		1	2		・十分な時間の中でより密な情報提供の機会が作れるよう検討していきたいと思っています。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。		14					・事業所で過ごしている様子（頑張っていること、いつも変わった様子）など、様々な観点から保護者へお伝えさせていただきます。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		12	1		1		・希望があれば定期的に面談を行っていますのでお気軽にお問い合わせください。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		14							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	2	3	8	・親同士の交流がしたい		・保護者会や保護者同士の交流やイベントの開催ができるようご検討させていただきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			4		・ホームページ上での情報開示やラインにて毎月のチラシを配布させていただいています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1				・職員が危機感を持ちながら十分に注意し、保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			2		・年に2回、避難訓練を実施しています。また、定期的に災害についての動画やお話をする機会を設けています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14					・事業所内外における事故の発生や怪我をされたときは直ちに状況説明のご連絡させていただいています。引き続き迅速な対応を心掛けていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14					・引き続き安心感を持って通所していただけるような環境作りをして参りますので、今後ともよろしく願いいたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14				・平日はあまり行きませんが、長期休みがメインの利用なので楽しんで行ってくれています。ありがとうございます。	・楽しんで過ごされているということで安心しました。今後ともよろしく願いいたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				・先生方、みなさんいい方ばかりで安心して通わせています。頼りにしています。	・励みになるお言葉ありがとうございます。支援者で共有させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ファミリーサポートこおりやま 宇宙			公表日		2026年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・状況に応じて居室を使い分けて過ごしてもらっている。要望があれば個室空間の提供も行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日の居室内外の掃除は欠かさず行っている。利用者が心地よく過ごしてもらえるような環境作りを徹底しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・要望があれば個別で対応しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・年に1度アンケートを取りまとめ、内容を集約し業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・日頃より職員同士の意見交換の機会を作っています。意見を吸い出しながら日々の業務改善による効率化を図っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ホームページ上にて情報公開をしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・定期的に面談や聞き取りを通じて個々の特性理解を深めながら計画作成を行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・関わりがある全ての支援者同士で常日頃から情報共有をし、共通認識の下で支援に携わっています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・必ず情報共有を行い、計画に沿った支援を心がけています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・放課後デイサービスガイドラインに基づきながら支援内容に設定しています。必要に応じて保護者等に聞き取りを行いながら支援設定も並行して行っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・個々の特性や、目の前にある課題等を話し合いながら活動プログラムの立案をしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・支援者のみならず、利用者よりしたいこと等を聞き取りを行いながらプログラムに反映させています。それぞれが意欲的に活動できるような取り組みをしています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・毎朝、前回利用時の利用者の様子や特記事項、プログラム内容等について情報共有を行い支援に当たっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・その日の利用者の様子であったり、支援員による対応は適切であったか等振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・ご様子や意向などを定期的に聞き取りを行いながら継続・見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・自己決定・選択ができるよう、一方的に提示するのではなく、自ら考えて行動する時間を設けています。その後の振り返りも行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			全ての関係機関と取れているわけではないが、今後検討していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			・下校時間や行事予定等の項目ごとの情報共有はできているが、個々の利用者の様子や課題について話し合う場の時間調整が難しいです。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・必要に応じて各関係機関に連絡を取り、情報収集を行いながら共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・必要であれば移行先に対して、支援内容や様子について情報提供をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			必要があれば相談するようにしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		・交流の場があれば良い刺激になると思います。地域交流との機会が少ないのが課題です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		・日々の業務等の都合により参加できていません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・日頃の様子等を送迎時にお伝えしています。状況に応じて電話やライン上にて情報共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	・情報提供について必要であれば行っています。	・家族等が参加できる研修は実施していないが、必要に感じています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・現状でのこどもと保護者双方の意見を確認しながら進めています。それぞれの意見をよく汲み取りながら作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・送迎の際やお電話にて話をさせていただいたり、希望があれば面談を行い話し合う機会を設けています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		・情報交換の場として必要であると思いません。要望があれば検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情や意見等があった場合は迅速に対応できるよう職員同士で共有し、対応を行えるように体制を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			・ライン上にて毎月のチラシを配布しているが、活動内容等を気軽に確認できる媒体があれば良いと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報が記載された書類は十分に留意し漏洩がないよう厳重に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		・地域住民との交流の機会がありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各マニュアルを作成し、事務所にて厳重に保管しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCPを策定し、年2回事業所にて避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・利用時に保護者より聞き取りを行い、個人票にも記載してもらっています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・自宅で用意したものの以外は口にしないよう配慮しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し、特記や追加事項などを話し合いながら安全管理を行い、支援に取り組んでいます。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・一つの事案に対して共有を行うと共に、改善策等を考慮しながら再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・定期的に研修を行い、共通認識を高めていくながら適切な対応ができる体制を整えています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・いかなる場合においても身体拘束をおこなっていない。必要がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に了解を得た上で、支援計画に記載します。		